磐城毎日
社長 大和田與兵衛
發行所 福島縣平市南町
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番

木炭部新設
配達迅速
水野氷室
平市大町 電話二一九九番

再び水道問題を檢討し
◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎市當局と市議會に要望する

平市當局及び市議會は十數日前發表された野崎滿藏君や萩原義雄君等十二名の平市水道問題の聲明書なるものを馬耳東風と聞き流すのみか、不問に附するなら鎌田山の水道計畫こそは全くの不必要の結論となる譯であるが若し事實を揑造したとするならば市民に及ぼす影響と市政を攪亂し市議會の決議權を蹂りんし無視しなお市長の名譽と信用を大いに損けたものである、まづ彼等は老境に這入っている人達である決して

戰後型の

若い連中等の持つ一時的騒がせの刹那主義的共通心理の持主ではあるまい、勿論市民は其の宣傳する四、五立方尺の眞實性に變な感じが起きるであらう、それで昭和七年九月十九日八幡小路配水構内で擧行した水道事務報告中に大正五年七月起工し爾來二十有二年の歳月と金二十四万一千六百六十一円余の巨費を費し玆に人口四万人に對し一人一日平均四、五立方尺其の水量十八万立方尺、其の他鐵道給水二万立方尺、併せて二十万立方尺を供給し得る工事の竣工を見たり云々とある而して

最初の契約

は大正四年九月十一日の調印で一、三個、それから大正十五年七月十五日に二、六個で今日に至っている、然も現在では三、以上の取水量があるではあるまいかと思はれる点もある、そこで設備其の他の点から見て一日一人平均が四、五の使用可能ではあるがそれは

四・五の取水量ではないので

ある、即ち分析的に研究もしないで愼重さを忘れている處に來年選擧の心境さを發見し得るではないか、而して毎秒二、六立方尺取水量は二十四時間の一晝夜では二十二万二千六百四十立方尺の水量となるが、其の内の一割二分は蒸發乃至淨水作業其の他で損失するのが學理的に説明されていると云うことである、中小都市の文化生活とすれば一日一人平均百六十リッター、即ち五、七立方尺が消費の常識となつていると云うことである、斯く計算する時は一、二立方尺の不足となることで鎌田山水道工事の必要性が當然起きた譯であろう、果してそれとするならば有事即應の態勢の機構に市議會が善處した事が認め得られる

來る三十日の市會

に於て市議會と市當局の解決が見物である、好間江筋組合との契約及び議事錄の存在が果して有か無か？万一にも有の場合は市はどうする、若し無と出た時には彼等十二名に對する當局の取るべき方策や如何、市民は此の千番に一番の掛合こそを期待して止まない、若し夫れ近く着手する好間川の改修工事によつて鐵管の露出し過去二回に亘る流失破損して過般の斷水問題等を思い起す時、或は大火が場合などに豫備としても鎌田山水道を不必要とするか、此の点など考えたなら市民は安心性を何處に求むるであろう

輸送難で山に危機
磐炭勞委員會 問題を重大視す

常磐地區各炭礦の貨車不圓滑による貯炭は既に十万屯を突破記錄破りな滯貨から貯炭壊の陷落事故まで惹起しているが、このまゝでゆくと採炭中止もやむを得ない狀態に立至るかも知れず、よつて來る從業員の勞金問題にまで波及する怖れとなつて磐炭勞大河原委員長外六名は廿七日午後一時から平石炭會館に礦連小島理事と會見輸送問題について勞組も捨て置く譯にゆかず今後の見透し及び對策等種々打合せをなした

創作
十五夜お月さん（三）
佐々木智康

「私一人つきりにしておしまいなのね、お姉さまの意地惡、引揚船の中で私を抱いて泣いて誓つた言葉忘れる筈無いわ、二人は何處までも何時までも仲良く離れないで暮しましようね—てあんなに何度も云つたでせう私忘れないわ、嫌よ、お姉さま嫌、斷じて離れるの嫌よ」

でも駄目でした
とう〳〵四月末頃式を擧げる事になつたのです
式服が東京から届きました
美しいお振袖の金糸銀糸が光る着物でした
然し私たち姉妹には哀しい運命の式服だつたのです
十五夜お月さん
一人ぼち、櫻吹雪の花蔭に——

花嫁姿のお姉さま
車に揺られて
行きました
「長々お世話樣になりました」
叔父、叔母の前に一々挨拶する花嫁衣裳のお姉さま、さすがに叔母は涙をボロボロ流していました
「お姉さま」
私は泣き乍らお姉さまに飛びつきました
「さようなら、身体を大切に—ね」

お姉さまは、いきなり立ち上り膝に伏せていた私を邪慳に振り拂いました
お姉さまは涙を隱しきれず私達の前から逃げる樣に離れるとハンカチを目に當てゝ暫くしのび泣いてました
午後から初められた式が何かと長びいて、もう夕闇があたりに立ちこめています
戸外に出ると十五夜月が、まん円く中空にありました
「お姉さま、さようなら」
私の泣き聲が闇の中に消えて行きます
お姉さまは、待たせてあつた自動車に乘ります
驛まで車で行くのです、乘り際にちらと振り返つたお姉さまは
「さようなら、呉々も、身体を大切にね—」
と云ふと車の中に入つてしまわれました
叔父さまが、紋付で直ぐ續いて乘り込みます
と、ドアーが運轉手によつてバターンと無氣味な音を響かせてしめられてしまいました
櫻の花片がハラハラと夜目にも白く落ちています
櫻も泣いているのでしょう
私は走り寄つて
「お姉さん」
と車にすがりました
「何時迄も、そうしていてはきりが無い、さあ、あきらめるんだ、何も外國え行くと云うんで無し、同じ日本の中に居るんだ、何時でも逢う氣なら逢えるよ」

民生助成會定例會

平市民生事業助成會定例會は廿七日午後二時から市公會堂で開き日本赤十字募金の最功勞者平市八幡小路醫師渡邊久氏に日赤表彰狀並に記念品の傳達式を行つた後生活扶助額の增減優生保護法適用に對する意見書の作成並に學校兒童給食費取扱に關する件などの報告及び協議を行つた、なお九月中の準要保護世帶の保護費支出額は生活扶助は一千二百八十名に六十六万九千円住宅扶助は一千二百名で一万四千六百円、醫療扶助百十四名、廿八万一千円、教育扶助五百四名、廿三万七千円、葬祭扶助三名五千七百円總計三千九十二名百廿万八千八百五十八円を支出している

教委選擧は低調
棄權防止に學童も出動

來る十一月十日行われる縣教育委員の選擧熱は依然として低調であり、農繁期でもあるので棄權が多いのではないかと憂慮されている平市では學童を動員して棄權防止の啓蒙運動を展開する計畫で廿六日午前十時より市役所會議室に於て市内中、小學校の參集を求め運動方法の具体案を協議次の如く決定した

△各學童の家庭に於ける有權者數、投票者數、棄權者數等を記入する印刷物を渡し選擧終了後これに各家庭で記入せしめ學校に提出せしめる

△選擧前日學童を動員し宣傳班を組織しメガホンで棄權防止の街頭宣傳を實施する

△選擧當日は學童の退校時間を早め勿論田園にも進出して棄權しない樣市民に呼びかける

△選擧當日は各戸に國旗を掲げる樣學童を通じて呼びかける

今朝支店長を逮捕
常陽銀行背任横領 事件遂に進展

平市署では廿七日早朝常陽銀行平支店長中澤孝三氏を背任、業務上横領容疑で市内六間門の自宅で逮捕取調を開始した、事件は去三月末興銀福島支店から常陽銀行福島支店を通じ平市月見町坂本產業社長坂本兼郎氏宛に送つた企業整備資金を常銀平支店では坂本社長に無斷で借金と相殺したもので當局では事業施設以外には運用出來ない整備資金として貸出したものを借金と相殺したのは背任、借受人の手に渡さずその前に處理したのは業務上横領だと言う見解、市署では廿三日以來坂本社長及び常陽銀行平支店佐藤貸付課長らを參考人として取り調べていた

一家三名が赤痢
大浦村え消毒班急行

大浦村大字細谷字御殿農芳賀トキエ（三九）さん三女節子（九）同四女正子（五）ちやんの兩人は廿六日擬以赤痢同五女清子（二）ちやんは同日擬以疫痢と判明即日隔離した平保建所では早速係員が急行久しく絶えていた傳染病の發生に豫防對策を努めている

むつみ會募金

平市「むつみ會」では赤い羽根の街頭募金に十九日、廿日、廿一日、廿五日の四日間市に協力して一万一千七十八円の募金成績を擧げた同會の募金協力については市當局を始め各方面から賞揚されている

一夜に四軒荒す
コソ泥磐崎村に横行

十九日午後十時から廿日午前六時の間に同地内常磐炭礦磐崎坑職員合宿所から男物着物オーバーなど九點＝磐崎村大字上湯長谷採炭係荒牧靜雄（三三）さん所有＝時價一万円相當を盗まれた

×

二十五日夜から二十六日朝までに磐崎村大字藤原農蛭田武（五四）さん方では自宅物置の南京錠を破られ大麥四斗、時價一千円相當を盗まれた

×

同村農協組第二倉庫は東側窓格子三本が刄物で切り破られたが中の袋錠があかず未遂

×

更に同村農大田原源治（六三）方では自宅表台所から白米二升外一点三百円相當を

×

同村藤原無職大井川ケイ子（四六）さんでは自宅内からゴム長ぐつ一足、四百円相當を盗まれるなど一夜に何と四件も荒らされ部落民を怖やかしている手口その他から見て同一犯人のコソドロ仕業と見られ平地區署で嚴探中

商狀、經濟欄

【鮮魚】二十七日現在卸値（單位貫）

かつを	三〇〇円
ひらめ	六〇〇円
かれひ	二〇〇円
かながしら	三〇〇—二〇〇円
まこ	三五〇—三〇〇圓
むし	三五〇—三〇〇円
やなぎ	三八〇—三五〇円
いか	一〇〇円
さつまあげ	二八〇—二五〇円
ほうぼう	二〇〇—一八〇円
どんこ	八〇—六〇円

市況—入荷少く人氣稍活潑

【青果市況】丸サ市場

きうり（上物）	二五〇円
同（並）	一五〇—一〇〇円
ねぎ	六〇—四〇円
玉ねぎ（十貫入）	四五〇—四〇〇円
ごぼう	一〇〇—八〇円
人參	一四〇—一〇〇圓
大根	四五—四〇円
油菜	二円五〇錢—二円
平菜	一六—一〇円
ほうれん草	八—六円
里いも六	六五—四〇円
さつまいも	四五—三〇円
やまといも	二〇〇—一五〇円
葉しようが	一三〇—一〇〇圓
生柿	六〇—四〇圓
みかん（三貫五百匁入）	六〇〇—四〇〇圓
りんご（四貫二百匁入、四貫八百匁入）	七〇〇—五〇〇円

市況—稻刈時で入荷少く約千貫人氣よし

【株式市況】27日前場 磐城證券

小動きの保合で動意は見られない出來高概算七〇万株

鋼管	六三	呉羽化	—
東洋紡	二〇六	苫小牧	一六九
鐘紡	一三三	十條紙	一八二
日清紡	三〇〇	本州紙	一二三
呉羽紡	一三三	日セメ	八八
日東紡	一〇八	磐城セ	一六四
片倉	五九	小野田	一六四
帝人	一〇七	不動新	二三三
東洋レ	一五〇	陽和不	—
新光レ	二四〇	開東不	—
山パル	一八八	三越	三九五
東海上	五〇〇	日麥酒	一九〇
新郵船	一七三	朝麥酒	—
三井船	一三九	キリン	二〇〇
日發	三三	寶酒造	一三七
三井山	四六	野田醬	一七四
日石	七一	豊年油	一〇六
三井造	一七〇	高壓	五一
日立	二四	日產化	五五
東北パ	一〇八	日活	—

少年犯罪豫防
活動狀態調査

市署では少年犯罪の撲滅をはかり市内少年補導會、婦人團体主催の防犯映畫會、演劇會、幻燈會、紙芝居、展覽會、立看板、ポスター展防犯團体の結成等の防犯活動狀況を月報として報告する樣廿七日市内小、中、高學校に調査を依頼した

靴店に賊

廿四日午後八時から廿五日朝方にかけて市内舊城跡二七宮川清治さんの田町白梅營業所施錠を破壊陳列棚から單靴一足、時價二千五百円を盗まれた

好評 10月 超サービス 寶くじ
寶籤發行 五周年記念
一枚僅かの十圓で
100万円 26本
30万円 52本
末等でも20圓。獎金は從來の三割增。飛ぶ樣に賣れる!!
100万円の幸運はお早く!!!
日本勸業銀行
其他賣捌店發賣中

1950年式
ドレープ型背廣
最新型高級洋服
裁斷と裁縫
移る時代の尖端を、そしてスマートな洋服を造る店
冬服の新調なら着る身になつて親切をモットーに造る皆樣の渡邊洋服店
御注文は電話九五七番、流行柄の現品及びサンプルを豊富に取揃え遠近を問はず御伺ひ致します
渡邊洋服店 小路 紅電957

今回業務擴張のため左記に移轉致しました
平市大町四番地（岡田疊屋隣）
千代田生命平支部
支部長 大河原完
電話一二七七番

◆秋の撮影指導會◆
場所 川前↓江田
期間 十一月五日（日曜）江田集合
會費 二百圓（サクラフイルム一本付）
モデル 小西六（ミスサクラ三名參加）
◆市内各寫材店へ申込まれたい
フイルムに制限あり至急申込まれたい
主催 平寫材組合
小西六寫眞工業株式會社

◆移轉御知らせ◆
白銀町（驛前通り鐵道官舍向い）
内科 小兒科 呼吸器科
和田醫院
和田浩美
電話一一八七番
舊住所 才槌小路たかつき保育園脇

赤除名論も飛び出す

斗争見合す好間鑛代議員會

古河好間炭礦労組（組合員二千七百十三名）では二十六日午後四時から臨時代議員大會を開き△赤色追放に基く會社側の整理通告を理由なしと突ばねて強硬に押し切つて居る三氏の處置と△新役員改選について二時間に亘り討議した被整理者三名の處置については一部から組合除名論も飛び出し激論を交したが結論を得ず取りあえず同問題について従來通り會社側と斗争を續行するか否かにつき各自投票、採決の結果「斗争をしない」ことが多數で採決され今後の處置については三十日の役員改選後に大會を開いて協議することになつた

授産婦講習會

市公會堂に

郡授産婦（七十名）の講習會は廿六日午後一時から平市公會堂で縣衛生部長代理青沼平保健所長、平市長、小谷市衛生課長出席のもとに開講式を行つた、講師には縣醫務課佐々木たけ、福島醫大教授九島勝司、須賀川公立病院婦長根本はつ、中村町助産婦岡本いし、平保健所榮養師金澤久江の諸氏

役員の改選

古河好間炭礦労組（組合長管野眞一氏）では來る三十日役員の改選を行う任期滿了になるもの

小名浜第二中 新築工事決る

作山組七百万で落札

廿六日午前十二時から小名濱町第二中學校新築工事請負工事入札は業者十九名が參加、町役場に於て行つた開札の結果最高札七百八十万円、最低七百八万円で作山組に落札した、落札豫定額は七百万円であり八万圓の開きがあつた、期日その他に支障を來たさぬ場合は落ざつ額を支拂うことに契約された近く工事に着手することになつた

三百万圓の貸出

中小企業資金締切る

平信用組合内國民金融公庫平出張所では廿四年十二月から銀行融資に惠まれぬ中小企業家に事業資金の一端として小口貸出を開始して來たが、本年度分の割當總額は三百四十万円で既に三百十三万圓は廿三日以前に貸出濟となつており、殘る廿七万に對して申込者が廿九人有る、尚本年度貸出しはこれで締切つた

保健所巡回映画會

平保健所では廿八日午後七時から第六小學校講堂で結核豫防對策の普及と農繁期にある農民え憩の夜の一時に映畫鑑賞會を開く、映畫は三船敏郎と志村喬「醉どれ天使」並に文化映畫、時局ニュース、なお廿九日には湯本町常磐炭鑛、磐崎病院會館、十一月一日錦町呉羽化學工場會議室で開く

寶くじ五十万円消化

發行五周年記念第十回寶くじの抽籤日は來る三十一日日本劇場に開かれるが勸銀平支店の割當金額六十万圓に對し現在既に五十万圓の賣行を見せており同所では抽籤日迄には百%を消費出來ると見込んでいる

野球リーグ戦

四ツ倉町で

四倉町松藻會主催の軟式野球リーグ戦は廿九日午前九時から同中學校庭で行う、出場チームは同町内の江口工業、磐城セメント、磐友高校生の四チームで先年の優勝は磐友チームである

親睦向上計らう、と

學區內青年連絡會結成

平第一小學校學區内の十二青年會ではお互の親睦融和を圖る爲連絡會を結成する運びとなつた、目的は青年會相互の連絡や町内間の行事の連絡や相互協調など青年會の向上、後輩の指導に円滑を期するためで廿七日午前六時半から平一小に各青年會代表が參集結成打合せ會を開く

衣服整型術に就て（1）

關西洗染クリーニング協會

顧問　永山眞彦

はじめ衣服を大別して便宜上二種類に分け順次之を述べる事にする、衣服は之を洋服類、和服類に分けられる、これ等は動物纖維織物、植物纖維織物及之らの交織物等より成る而して各々の身体の大小に從い、最も自已に適應せる樣に——保健上にも亦美的見地からいつても——原型裁斷、或は變型裁斷法により、裁斷せられ、衣服として着用せらる

衣服類の型態は實に多種多樣にして、殊に現在の如き生活樣式の複雜化、一般大衆の情操の向上等に伴い、益々その型態種類の增加を示すが、これは世の向上變遷に並列した當然の現象であらう

衣服は人類の保健上、其の體溫を保持せしむる爲に着用するものなることは、今更事新らしく玆に論するまでもない

吾人が日常着用する洋服、和服等は絶えず身體より分泌する排せつ物—勿論それは纖維織物の種類、又は食物上より來る所の體質の關係により、多少は排せつ分泌作用が異なると雖もカプロン酸、汗液、鹽類、酸性變性脂肪、蛋白質、乾酪素有機物、窒素、硫黃、燐、膏賦等が着用せる衣服類に附着し又之が媒介となりて外界より來れる種々の汚物塵埃若しくは有害なるバクテリヤ菌等を固着せしむるが故に、衣服は漸次不潔となり、或は惡臭を發し、或は外見美をそこない、遂には使用に適せざるに至ることは、吾人の日常經驗する所である

然れども之等の衣服類を不潔となし、直に捨てゝ用いざるは經濟上甚だ不得策なるのみならず、到底一般の經濟の許さざる所なるが故に、或る適當なる方法を以て此等の汚物を除去し以て再び使用せざるべからず、之れが目的を達せんとする爲に洗染學術、汚點除去術整型術等の方法に依り衣服をして原型態樣に復歸せしめ、再び着用せらるゝものである、然れども一般整型に於ては尚不充分なる點あるを以て玆に予の體驗せる整術型の手順方法につき聊か參考の一端に供せむとす

整型術に就て

凡そ整型術は吾々專門當事者の最も重要なる操作にして一般に洗滌物によりて淸淨になせる衣服を、原型態樣に復歸せしむる所の操作工程を稱す

これが目的を達するには一般染染學術の基礎的常識の涵養にあり、而して整型操作の上に最も重要なるは裁縫の知識、各纖維の性質、アイロンの物理的運用法等である

好間に二人組

米泥棒

二十三日午前二時ごろ好間村大字下好間農鈴木好雄（五〇）さん方に二人組と見られる賊侵入同家炊事場内から粳精米三斗五升、もち精米七升、時價三千円相當を盜み逃走した、賊は同家炊事場に連なる物置の壁の高さ二米位のところを踏台に利用して破り侵入し物品をあさつた末内鍵を破つて逃走したもの平地區署で嚴探中

戰災更生美談

丸燒けから五年目

苦難を克服の親子二人

「働く者に失業なし」のたとえを地で行つて眞に市民の模範として鈴木平市長も口を極めて賞讃している戰災者の奮鬪美談がある、話題の主は草野村下神谷釜の台新舞子に居住し平市四丁目（郵便局筋向い）に果實店を營む柴田フミ（五〇）さんと宗次郎（一九）君の母子であつてフミさんの夫善吉（五五）さんは曾て東京都日本橋で相當の飲食店を營んでいたが戰時中の整備で魚商に轉業し昭和二十年三月十日の空襲で戰災に遭うまでは東京都淺草で三千人余りの登錄を有する魚類配給所を經營し數名の店員を使い何不自由なく生活していたのであるが戰災で丸燒けとなり一時都内高田町に避難した、善吉さんは幸い料理の經驗があつたので或る人の世話で伊豆の修善寺の某溫泉旅館に料理人として雇はれ親子三人修善寺に移り子息の宗次郎君は在京當時工業學校に在學中であつたので三島工業學校に轉校し學業に專念していたが、好事魔多しで父の善吉さんは戰災による精神的の打擊もあつて健康を害し已むなく料理人をやめ二十一年四月前記新舞子に住む善吉さんの實妹方に身を寄せ、實妹の援助で生活する身となつた、善吉さんは持病の神經痛で動けない身であり、宗次郎君も當時幼少であり普通なら民生委員に依頼して生活保護を受くべき身分であつたがこれを潔しとせず母のフミさんと宗次郎君は健氣にも自活の道を立てる固い決心で僅かな資金を工面し梨其の他の果物を仕入れ二十一年七月から平市四丁目郵便局の軒下で露店商を開業以來程遠い新舞子から毎日同所に母子二人で通い五ケ年間春夏秋冬一日も休む事なく早朝から夜遅くまで頑張り通す精勵振りには勤勉な母子露店商として近隣の評判となつて親しまれていた、この精勵振りを遂に四丁目の百澤商店主人の認める所となり、郵便局筋向いの百澤商店倉庫の事務所で表通りに面した家屋を殆んど無償に近い家賃で店舗に提供され十月一日から果實專門店として小ザツパリした店舗を構え、薄利多賣主義で新鮮な果實を販賣している相當の繁昌振りを示し近い將來に自力で店舗と住居を新築する計畫であると云う奮鬪と努力によつて何物をも克服する生きた見本で「職よこせ」「休日賃金を出せ」等と騒ぎ廻つている失業者はよろしく見習うべき厚生美談として近隣から賞讃の的となつている

中間ご報告

我社は創刊當時は編集に或は朝刊なるが故に色々の批難もありましたが漸く軌道にのつて郷土紙としての特色も發揮し參りまして發行部數の如きも日一日と其の數を増し廣告の如きも進んで御依頼を受けると云うありがたい情勢となりました、誠に感激に堪えない次第であります、社屋の落成も間近で來月十日頃の見透しとなりました、發刊數ケ月此の發展を裏付ける社屋の新築に謹んで中間のご報告を致します

磐城毎日新聞社

社長　大和田與兵衛

魚屋鐵管盜む

勿來町酒井魚商大泉重松（五〇）は去る十八日大日本炭礦資材倉庫から鐵管など一千五百圓相當を盜んだことが判り二十七日勿來町署から書類送檢された

二人組倉庫破り送檢

錦町中田土工正木茂（三三）同字人夫伊藤豊治（一八）の兩名は二十二日夜十時ころ同字中山組資材倉庫から川部村中山吉之助所有のセメント七俵、リヤカー一台、時價一万一千圓相當を盜んだことが判明、二十六日錦町署から身柄送檢された

中學陸上競技大會明日

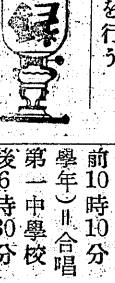
中等体育連盟石城支部主催郡内中學校陸上競技大會は二十八日午前九時より内郷町立第二中學校々庭で開く

•••校長協議會　廿八日午後一時より小名濱高校において石城地區高校長協議會を開く

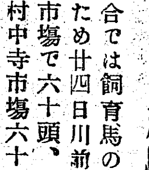
飼育馬の改良に

產駒の品評會開く

石城畜產組合では飼育馬の改良を圖るため廿四日川前村桶賣家畜市場で六十頭、廿五日澤渡村中寺市場六十頭、廿六日上遠野家畜市場七十頭の產駒品評會を開く入賞馬は十二月四日から開く當才駒のセリ市品評會で褒賞の授與式を行う

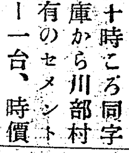


出生　十三日平市田町金子元彦氏長男一英さん△十九日同古鍛冶町生天目新吾氏長女りえ子さん△廿日同仲町高橋義矩氏二女朱美さん△廿四日同田町鐵道官舍掘山四郎氏二女良子さん



【廿八日】前7時15分　あぜ道通信（13）＝增產對策（2）＝縣農事試驗場技師友廣勇他　前10時10分　學校放送（全學年）＝合唱　＝河沼郡日橋第一中學校　後6時30分　土旺劇場＝熱海小唄他＝

廿七日晩は風弱く一時曇、北部山添いでしぐれる事もありましよう、廿八日は朝の中風弱く割合雲が多いですが日中は北西の風やゝ強く晴時々曇の天氣で夜間は相當冷え込みましよう、廿九日は北西の風良い天氣でしよう、海上は廿八日ころから北西の風により風波がやゝ高くなりますから御注意下さい



縣職組郡内分會對抗娛樂大會（將ぎ、圍碁）の出場選手選拔豫選會は各出先機關において鬪はれているが石城地方事務所では廿一日から晝休みを利用して將ぎ十三名、圍碁十八名でトーナメントで毎日パチリパチリとやつている、出場選手の顏振れをみると娛樂大會という名目のため箱崎所長、芳賀次長も一役かつて出て居り試合中は助言一切まかりならん、待つたなしの嚴則のもとに先手後手は當事者同志がジヤンケンをもつてきめる、大會の出場はそれぞれ二名づゝで來月六日までに選手を決定する

印刷物の御註文は迅速確實の當店え
大和田印刷所
平市中町廿三番地
電話七二九番

本場＝牛豚肉＝自慢
第一綠屋　電539
第二綠屋　電794
配達迅速

うまい!!! 安い!!
好評のシュウマイ
中華そば
和食・洋食

三丁目
平会館
電六二四

紙袋　各種卸します
サンキュー
佐々木商店
平市鍛冶町電（呼）五〇三番

平自慢
パンと洋菓子
BAKERY
TOKYO-DO
TAIRA TEL.1108

豊松のコロッケ
平中央一丁目通

麻雀開店
ゼヒ一度お遊びにお出下さい
平市銀座通り
電九六九番
ぎおん荘

新らしいミルクプラント

いつも新らしい良い牛乳
川角の牛乳
平市下平窪　川角牛乳店